

行く夏惜しみ 各地区・集落でお盆行事

郷土芸能・盆踊り・花火大会で先祖供養



スターメインなど約3000発が打ち上げられた阿仁の花火大会

学生が参加する通り踊り、タント節、地元出身の歌手・林りり子さんの歌謡ショーなどで行く夏の夜を楽しみました。

鷹巣地区では、恒例の市民盆踊り大会が14日と15日の夜行われ、2日間で約1000人が踊りの輪を広げました。鷹巣の盆踊りは、今から約150年前に当時の鷹巣村の商人らが商売繁盛と豊作を祈願して踊ったのが始まりと言われています。

16日には、阿仁地区で、「第46回阿仁の花火と灯籠流し」、異人館フェスティバルが阿仁河川公園で開催され、地区内外から大勢の見物客が訪れました。

今年は、適度な風が吹く絶好の花火日和。慰霊花火で始まり、割り物花火、色とりどりのスターメイン、花や蝶をかたどった造形花火など約3000発が打ち上げられ、観覧席から大きな歓声が上がっていました。

このほか、町内や福祉施設でも盆踊り大会が行われました。18日には、綴子の特別養護老人ホーム・青山荘で盆踊り大会が行われ、地元婦人会など大勢のボランティアが参加、利用者と交流するとともに、市観光協会では恒例の花火を打ち上げて喜ばせました。

北秋田市のお盆行事

今 年も8月中旬、市内各地区・集落で獅子踊りや奴踊り、盆踊り、花火大会などのお盆行事が行われました。いずれも、祖先の霊を慰めるとともに、地域住民や帰省客の楽しみの一つになっている伝統行事・イベントです。

北秋田市で最も広く伝えられている芸能が獅子踊り、駒踊り、そして奴踊りです。由来はほぼ共通しており、佐竹侯が常陸の国から

秋田に国替えされたとき、家臣が君主を慰めるために考案した道中芸がルーツといわれています。今年は雨で中止になったところもありましたが、8月13日から15日にかけて市内10集落ほどで演じられました。

合川地区では14日、「第28回合川ふるさとまつり」が開催されました。今年は一緒に行っている「合川まとび」が雨で中止になりましたが、まつりに訪れた人たちは、婦人会や中

前山郷土芸能(奴踊り)。赤い襦袢に化粧廻し姿の踊り手が、棒や扇、綾と呼ばれる小道具を操りながら熱演しました。小学生、中高生も伝統の継承に一役買っています(13日)



米内沢共勇会が主催する米内沢獅子踊り。獅子舞のほか、奴踊り、駒踊り、棒術が披露されます。もりよし荘前では、米内沢保育園の園児も駒踊りを披露しました(13日)



雨のため体育館で行われた第28回合川ふるさとまつり。恒例のまとびは中止になりましたが、女性による通り踊りやタント節、歌謡ショーなどで帰省客らを楽しませました(14日)



約150年前の鷹巣村の商人らが商売繁盛と豊作を祈願して始まったといわれる鷹巣盆踊り。現在では、市民盆踊り大会として踊り継がれています(14日・15日)



市観光協会は特別養護老人ホーム青山荘で毎年ミニ花火大会を開き利用者に喜ばれています(18日)

帰省した大学生なども伝統の継承に協力している今泉の駒踊り。戦場で戦う騎馬の姿を激しい動きで表現します(14日・15日)

